

## リソース/ナレッジ不足による膨大なサイトへの分析/改善をTASがサポート・解決 さらなる安定運用・最適化に向けた施策とソリューションを提案



### アカマイを選択した理由はグローバル標準

サントリーグループ 日本国内のITシステム業務を担うサントリーシステムテクノロジー株式会社がアカマイのサービスを利用し始めたのは、国内外のサイトを集約した海外拠点のデータセンターを構築したことがきっかけだった。

「日本のユーザーがグローバルデータセンターにあるウェブサイトを開覧した際に、レイテンシの問題により画面表示時間が遅くなってしまいます。そこで、遅延なくサイトを閲覧できるようにするため、アカマイのCDNを導入しました。アカマイを選択したのは、世界各国にキャッシュサーバーがあり、どの拠点からも安定してCDNを利用するには、アカマイが最適だと考えたからです。」と基盤サービス部 主査 小山知岐氏は語る。

そして、2016年からは徐々にウェブサイトのクラウド移行がスタート。データセンターではオンプレミス型のウェブ・セキュリティ ソリューションを入れていたこともあり、クラウドのセキュリティに対してもアカマイ ウェブ・セキュリティ ソリューションを導入したいと考えていた。そこで、CDNの導入理由を前提にウェブ・セキュリティ ソリューションについてもアカマイのサービスを選択している。

### 約580サイトを限られたリソースでカバーするための運用最適化

ところが、アカマイの利用は順風満帆とはいかなかった。同社が抱えていた問題は2つ、そのひとつはリソースだった。「コンシューマサイトやBtoBサイトなど、サントリーグループが運営するウェブサイトは約580サイト。そのウェブサイトすべてにアカマイのWAFを適用する作業だけで一杯の状況でした。」と語るのは基盤サービス部 新川 洋平氏。しかも、新製品のキャンペーンサイトなどは随時追加されるため、日々ウェブ・セキュリティ ソリューションの適用に追われていた。

もう1つの課題は、アカマイの運用最適化に関する専門知識だった。運用サイト数の増加とともにウェブ・セキュリティ ソリューションの設定不備が顕在化する中で運用最適化に関する専門知識の重要性を感じた。「ウェブサイト数が膨大だったため、配信設定やウェブ・セキュリティ ソリューション化を実装するにあたって踏み込んだ最適化まで行えていませんでした。結果としてウェブ・セキュリティ ソリューションの設定不備など、意図しない動作が度々発生していました。」(新川氏)

### 専門知識を有したTASの支援に期待

サントリーシステムテクノロジー株式会社の基盤サービス部は、インフラを担当する部門としてITのプロフェッショナルに位置付けられているが、日々の業務のなかでアカマイのテクニカルな部分まで習得するのは容易ではない。「アカマイのサービス導入時に簡単な設計は行いました。ただ、設定できる箇所が多く、このレベルでいいのか、この機能は使う必要はないのかなど、不明点が多々ありました。もちろん、アカマイのサービスだけに注力できれば問題は大きくならないと思いますが、残念ながらリソースも時間もありません。『もっと快適に使いこなすためにはどうすればよいのか』と考えたとき、行き着いた先がTAS (Technical Advisory Service)。アカマイの専門知識を持った専任のテクニカルアドバイザーを利用したいと考えました。」(小山氏)

2018年5月、同社はアカマイのサービスサポートチームから支援が得られる技術相談窓口サービス、TASの利用に踏み切った。TASの導入に関してはコストの問題もあったが、同社としては高いセキュリティレベルの維持と安定運用、そしてより高速な配信設定を早い段階で実現させることを最優先と判断した。

## SUNTORY SYSTEM TECHNOLOGY

### Company

サントリーシステムテクノロジー株式会社

本社 : 〒530-8204  
大阪市北区堂島2-1-5  
サントリーアネックス7F

資本金 : 2,000万円

設立 : 1990年3月

<https://www.suntory.co.jp/sst/>

### Industry

ITエンジニアリング

### Solutions

- TAS (Technical Advisory Service)

専任のテクニカルアドバイザーがアカマイのサービスサポートチームの窓口となって、お客様のウェブ環境における潜在的な改善点を可視化。技術コンサルティングとガイダンス、定期的なアップデートとエンゲージメントレビューを提供し、アカマイへの投資がもたらす効果を最適化することができる。

### Key Impact

- TASの分析により、アカマイ ウェブ・セキュリティ ソリューションの最適化とCDNの高速化を実現
- TASの支援によって安定運用と最適化の施策を強化
- 継続的なアカマイのソリューション活用をTASが支援

### <サントリーシステムテクノロジー株式会社について>

サントリーグループのITベンチャー企業として1990年創業。現在は、サントリーグループ国内におけるITシステム業務に注力。ITエンジニアリングのプロフェッショナル集団として情報技術のフロンティアに積極的に挑戦しつつ、現場に直結した品質本位のシステム開発運用サービス・デジタルマーケティング基盤を構築。ITに関するスキルとグループ各社の業務知識、そして企画提案力をもとに情報戦略の提案からシステム開発、ユーザーサポートなど、ITを活用したソリューションをグループ各社に提供している。



サントリーシステムテクノロジー株式会社 基盤サービス部 主査 小山知岐氏(左)  
サントリーシステムテクノロジー株式会社 基盤サービス部 新川 洋平氏(中)  
アカマイ カスタマー・ソリューション部 エンゲージメント・マネージャー 寛 卓士(右)

## ウェブ・セキュリティ ソリューションの最適化とCDNの高速化を実現

TAS導入直後は、ウェブ・セキュリティ ソリューションの安定運用に注力した。「何が課題で障害が起こったのか」「今の運用をより良くしていくためにどうしたらいいのか」など、TASが同社のヒアリングを行い、それに基づいて構成や運用を見直してレビュー（セキュリティの最適化）を実施。その後、同社が新しいポリシーを策定するというフローで課題解決に取り組んだ。その結果、Webサイト移行の過渡期も終わったことも相まって、ウェブ・セキュリティ ソリューションの設定不備などは大きく減った。「監視の部分など、細かく自分たちが追っていませんでした。サイトごと詳細なチューニングも必要だということも認識しました。」（小山氏）

CDNに関しては、主要サイトの速度不足が課題となっていた。そこでTASはサイト分析を行い、キャッシュ設定の導入を提案するとともに手順をレクチャー。さらに、高速化オプション（HTTP/2）の活用もアドバイスした。「これらの施策により、ページを読み込む速度は1秒ほど速くなったと感じています。実際、グラフを参照しても高速化しているのが分かります。」（新川氏）

## さらなる安定運用と最適化に向けた施策を提案

ウェブ・セキュリティ ソリューションの安定運用に目途がついた現在は、毎月の定例会を通じ、アカマイのサービスに関する「課題のヒアリング→分析→新たな施策の提案→施策の実施→サービスの最適化」というフェーズに変わっている。こうした状況に対し、アカマイのTASを担うカスタマー・ソリューション部 エンゲージメント・マネージャー 寛 卓士は「TASの導入当初から課題リストを準備いただいたおかげで、問題となっている部分の可視化や対処の優先付けを把握でき、素早く対応に取り組めました。これにより、サントリーシステムテクノロジー様にとって最適な運用を提案できました。一段落した現在は、さらなる安定運用

と最適化に向け、様々な施策を提案しています。」と語る。

具体的な安定運用の施策例としては、SiteFailoverの実装が挙げられる。この場合の課題はオリジンサーバーにかかる高負荷。とくにSNSの配信後はアクセスが集中してしまうため、高い負荷は避けられない。TASのアドバイスにより、SiteFailoverを実装した現在はアクセス集中の画面を表示する待機システムで、ユーザーに対してトラブルではないことを示唆できている。

同社はTASについて非常に満足しているという。「総合的な相談役ができて良かったと思っています。アカマイに限らずですが、通常のサポートに当社の現状を理解してもらうのは簡単ではありません。その点、TASは当社のことを隅々まで理解していただいています。綿密に連絡を取り合うこともできますし、とても心強いパートナーだと考えています。」（小山氏）

## 今後もアカマイのサービスを利用していきたい

同社が次の目標として掲げているのは自動化運用だ。すでにアカマイからは、自動化運用に向けたソリューションとしてAPI/CLI（管理ツール）のアナウンスがあり、関連トレーニングの提案を受けている。「まずは監視スクリプトなどに実装して、運用を自動化できるようにしたいと考えています。」（新川氏）

アカマイのサービスおよびTASに満足している同社は、アカマイがラインアップする様々なサービスにも興味があるという。「当社で使えるアカマイのサービスをリストアップしていく予定。これからも、アカマイのサービスを適宜展開していきたいと考えています。」（小山氏）

これに対し、アカマイの寛は「今後は、よりアカマイのソリューションを有効活用いただけるような提案活動に取り組んでいきたいと考えています。」と応えている。



サントリーシステムテクノロジー株式会社  
基盤サービス部 主査 小山知岐氏



サントリーシステムテクノロジー株式会社  
基盤サービス部 新川 洋平氏



アカマイ カスタマー・ソリューション部  
エンゲージメント・マネージャー 寛 卓士



アカマイ・テクノロジーズ合同会社 [英文名: Akamai Technologies GK]

email : info\_akamai@akamai.co.jp HP : <https://www.akamai.com/jp/ja>

東京本店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー

Tel : 03-4589-6500

Fax : 03-4589-6501

アカマイについて：世界最大、かつ最も信頼性の高いクラウド・デリバリー・プラットフォームを有するアカマイは、デバイスや場所に関係なく、最高、かつ最もセキュアなデジタル体験をお客様に提供します。アカマイのプラットフォームは130カ国に20万台以上という比類のないスケールで展開されており、お客様に優れたパフォーマンスとセキュリティを提供しています。ウェブ/モバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティ、エンタープライズアクセス、ビデオ・デリバリー・ソリューションによって構成されるアカマイのソリューションは、優れたカスタマーサービスと365日/24時間体制の監視によって支えられています。グローバルトップの金融機関、eコマース事業者、メディア・エンターテインメント企業、政府機関等がアカマイを信頼する理由について、[www.akamai.com/jp/ja/](http://www.akamai.com/jp/ja/) または <https://blogs.akamai.com/jp/> および Twitterの @Akamai\_JP でご紹介しています。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク（本社：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者（CEO）：Tom Leighton【トム・レイトン】、[www.akamai.com](http://www.akamai.com)）が100%出資する日本法人です。アカマイは、世界40箇所に以上オフィスを構え、お客様のエンドユーザーに最高のインターネット体験を提供しています。各拠点の所在地は、<https://www.akamai.com/jp/ja/locations.jsp> でご確認ください。

©2018 Akamai Technologies, Inc. All Rights Reserved. 書面による明示の許可なく本文書の全体もしくは一部を複製することは禁止されています。Akamai および Akamai の波のロゴは登録商標または商標です。本文書で使用されている他の商標の所有権はそれぞれの所有者に帰属します。アカマイは、本刊行物に掲載の情報がその公表時点において正確であると確信しています。ただし、かかる情報は通知なしに変更されることがあります。本文書の内容は個別の事例に基づくものであり、個々の状況により、変動しうるものです。本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。変更されている可能性があることをご了承ください。発行 2019/01